

祝祭と予感

著者名：恩田陸
出版者：幻冬舎

大ベストセラー『蜜蜂と遠雷』、待望のスピノフ短編小説集！大好きな仲間たちの、知らなかった秘密。入賞者ツアーのはざま亜夜とマサルとなぜか塵が二人のピアノの恩師・綿貫先生の墓参りをする「祝祭と掃苔」。芳ヶ江国際ピアノコンクールの審査員ナサニエルと三枝子の若き日の衝撃的な出会いとその後を描いた「獅子と芍薬」。作曲家・菱沼忠明が課題曲「春と修羅」を作るきっかけになった忘れ得ぬ教え子の追憶「袈裟と鞆」。ジュリアード音楽院プレ・カレッジ時代のマサルの意外な一面「竖琴と葦笛」。楽器選びに悩むヴィオラ奏者・奏へ天啓を伝える「鈴蘭と階段」。巨匠ホフマンが幼い塵と初めて出会った永遠のような瞬間「伝説と予感」。全6編。

ツナグ想い人の心得

著者名：辻村深月
出版者：新潮社

顔も知らない父親に、事故死した幼い娘に、片思いしていたあの人に、もしも会えるなら。一生に一度だけの死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年に亘って務めを果たした最愛の祖母から歩美は使者としての役目を引き継いだ。7年経ち、会社員として働きながら依頼を受ける彼の元に、亡き人との面会を望む人々が訪れる。依頼者たちは、誰にも言えぬ想いを胸に秘めていて。

ライオンのおやつ

著者名：小川糸
出版者：ポプラ社

余命を告げられた雫は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことに決めた。そこでは毎週日曜日、入居者がもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」があった。毎日をもっと大切にしたいくなる物語。

逃亡小説集

著者名：吉田修一
出版者：KADOKAWA

職を失い、年老いた母を抱えて途方に暮れる男。一世を風靡しながら、転落した元アイドル。道ならぬ恋に落ちた、教師と元教え子。そして、極北の地で突如消息を絶った郵便配達員。彼らが逃げた先に、安住の地はあるのか。人生の断面を切り取る4つの物語。

夫のトリセツ

著者名：黒川伊保子
出版者：講談社

話が通じない、思いやりがない、わかってくれない、とにかく気が利かない…それでも、夫をあきらめない。夫婦70年時代のバイブル！40万部突破の『妻のトリセツ』、待望の第2弾！

「日本国紀」の天皇論

著者名：百田尚樹
出版者：産経新聞出版

子供たちは歴史教科書で「天皇」を学べない！65万部突破の通史『日本国紀』の著者と編集者が、日本の歴史に浮かび上がる「天皇」について語り尽くす。小学校の教科書は「天皇」をどう教えているか。戦後初の教科書との違いが明らかに。

小箱

著者名：小川洋子
出版者：朝日新聞出版

小箱の番人、歌でしか会話ができないバリトンさん、息子を失った従姉、遺髪で竖琴の弦をつくる元美容師…「おくりびと」たちは、孤独のさらに奥深くで冥福を祈っている。『ことり』以来7年ぶりの書下ろし長編小説。

介護のうしろから「がん」が来た！

著者名：篠田節子
出版者：集英社

直木賞作家・篠田節子が、乳がん発覚から術後までの怒涛の日々―検査、手術、乳房再建、同時進行で認知症の母の介護―を、持ち前の取材魂をもとにユーモア溢れる筆致で綴る、闘病&介護エッセイ。聖路加国際病院プレストセンター乳房再建担当医との特別対談を掲載。

巡礼の家

著者名：天童荒太
出版者：文藝春秋

ベストセラー『永遠の仔』『悼む人』の著者が故郷・道後温泉を舞台に描く、現代社会への「希望の灯火」。「お遍路さん」を迎える場所として道後温泉にある架空の宿「さぎのや」。行く場所も帰る場所も失った15歳の少女は、この宿の美人女将からこう声をかけられる。「あなたには、帰る場所がありますか」女将や地元の人々との交流を通じて、少女は、自らの生き方と幸せを見つけられるか。「他者に対して不寛容になっていく時代だからこそ、手を差し伸べて、希望と悲しみを分かち合う理想郷が必要である」と語る天童さんが紡いだのは、「本当の幸せ」をみつけるための物語。

背中の蜘蛛

著者名：菅田哲也
出版者：双葉社

ついに、ここまで来た——。前人未到、孤高の警察小説が誕生した。東京・池袋の路上で男の死体が発見された。目撃者もなく捜査は難航、しかし「あること」がきっかけになり捜査が急転。それから約半年後。東京・新木場で爆殺事件が発生。こちらもな捜査はなかなか進展しなかったが、「あること」が転換点となり容疑者が浮かぶ……。捜査に携わる管理官を中心に、新時代の警察捜査を濃密に描く。著者史上、もっとも尖った警察小説。

ほがらかに品よく生きる

著者名：斎藤茂太
出版者：新講社

いいほうへいいほうへと考える。腹の立つことには近寄らない。人には感謝してみるものだ。他人に恩を売るべからず、だ。…モタさんの言葉83。

からだを思い、味わうヨコハマレシピ

著者名：横浜市立市民病院
出版者：神奈川新聞社

天吉、霧笛楼、崎陽軒、ストラスヴァリウスなど、横浜の名店シェフによるからだに優しいレシピとコラム。管理栄養士による栄養成分と解説付。家庭でできるおいしくて美しい、ワンランク上の健康レシピ集。

記憶の盆をどり

著者名：町田康
出版者：講談社

犯人当てミステリー背筋も凍るホラーサスペンス異世界ファンタジーお伽話の現代語訳果ては美少年BLまで——名手が演じる小説一人九役！牙えない生活を送る男の部屋にやって来た謎の可愛い生き物。それからみるみる人生が好転して……「エゲバムヤジ」 蠱惑的な女に人捜しを頼まれた親分は、張り切って捜査を始めるが……「文久二年閏八月の怪異」突然自宅に訊ねて来た女は、かつて弄んで棄てた女と同一人物なのか。記憶が曖昧なまま女と街へ出て思い出したことは……「記憶の盆おどり」ミュージシャンを夢見る少年の目を覚まさせるため、男は少年をうらぶれたRockな町へ連れ出すが……「少年の改良」他全9編収録

ぼんごのおにぎりおいしさのヒミツ

著者名：右近由美子
出版者：朝日出版社

昭和35年創業、「世界一のおにぎりが食べられる」と噂の老舗「ぼんご」。大塚で行列を作る人気店は近年、TBSテレビ「マツコの知らない世界」や日本テレビ「ザ!鉄腕!DASH!!!」などで絶賛され、SNSでの口コミが倍増。56種類のバリエーション豊富な具材に加え、女将さんの人柄に惹かれ、通い詰める人が急増している。本書はそんな「ぼんご」の公式本として、60年の蓄積ともいえる、握り方から具材の作り方までを一挙公開。「家庭でできるぼんご風おにぎりレシピ」も掲載した、美味しいおにぎりをどこまでも追求した一冊。

希林さんといっしょに。

著者名：是枝裕和
出版者：スイッチ・パブリッシング

映画監督・是枝裕和による女優・樹木希林インタビュー集、ついに刊行決定。女優・樹木希林がこの世を去ってから一年。その一周忌となる9月15日、そして是枝裕和パルムドール受賞後第1作となる新作映画公開直前のタイミングに、是枝裕和による樹木希林インタビュー集が満を持して刊行決定。樹木希林は面白い。上手いでも楽しいでも、ためになるでもなく、やはり面白いのだと思う。??是枝裕和樹木希林に訊いた、テレビ、映画、CM、芝居、生きざま。他界するまでの数年、小誌で重ねられたロングインタビューが一冊に。その出会いから別れまでを綴った、渾身の書き下ろし原稿も収録。是枝裕和が見た役者・樹木希林、その軽やかにして美しき姿。

くいしんぼうのサンタクロース

著者名：中川ひろたか
出版者：教育画劇

絶賛発売中の、大人気既刊クリスマス絵本『わすれんぼうのサンタクロース』で大活躍したサンタさんとルドルフが、再び帰ってきました。